

信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための短期学生海外派遣プログラム  
実施状況および成果

|               |                                                                                                                                                                                                                             |                 |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| プログラム名        | カリフォルニア地域産業と英語研修プログラム                                                                                                                                                                                                       |                 |
| 学部・研究科名       | グローバル教育推進センター                                                                                                                                                                                                               |                 |
| プログラム実施期間     | 2017年8月31日～9月22日                                                                                                                                                                                                            |                 |
| 研修先(国・都市・施設名) | アメリカ カリフォルニア州 チコ市                                                                                                                                                                                                           |                 |
| 参加者数 : 17名    |                                                                                                                                                                                                                             | 知の森からの支援者 : 11名 |
| プログラム概要       | 交流協定校である、カリフォルニア州立大学チコ校と協同で企画・実施した3週間のプログラム。信州大学が社会から高い評価を得ている「地域貢献・地域活性化」を課題対照として取り上げ、地域に根ざした企業や農場の見学や専門家によるレクチャーによりカリフォルニアの地域産業を学び、グローバルな視点で問題解決にあたるための基礎力を養成する。また細やかなレベル分けによる英語授業により語学力を高め、現地学生との交流により異文化理解や国際感覚の習得を目指す。 |                 |

実施状況・成果

交流協定校である、カリフォルニア州立大学チコ校と協同で企画・実施する、全学部及び修士学生対象の3週間プログラムで、英語学習及び「カリフォルニア地域産業」をテーマとして実施した。

英語については、研修校附属語学学校のAmerican Language & Culture Institute (ALCI)にてリスニングおよびスピーキングを学んだ。各科目ともプレースメントテストによるレベル分け(7段階)がされ、それぞれのレベルに応じた少人数多国籍な学習環境が提供された。クラス分けは7段階のうち、リスニングで「6」が3名、「5」が7名、「4」が4名、「3」が3名、スピーキングで「6」が2名、「5」が6名、「4」が5名、「3」が4名。自分の意見をはっきり主張する他国から来た学生からも大いに刺激を受けていた。

滞在はチコ市内の一般家庭へのホームステイで、様々なバックグラウンドを持つホストファミリーとの日常的な会話を通じて多様な英語に触れることができた。ホストファミリーと一緒に料理したり、絵を描いたり、ハイキングに出かけたりするなど様々な体験し、「一生忘れられない思い出になった」と言う参加者もいた。

「地域産業」については、信州大学を含む日本国内の地域活性化の事例について各自調べた内容を英語で発表し、地域活性化を身近な課題として捉えイメージを持つとともに、訪問施設についてホームページ等で調べ現地で見聞する内容を考える等の事前学習を出発前に行った。現地ではカリフォルニア地域産業の概要、歴史、現代の課題に関して等、専門家によるレクチャーを受講し、また大学の農場や、農業関連企業、食品加工工場での実地見学を行い、地域から全米およびグローバルに展開する企業・農場の実例(経営戦略や地球環境への配慮等)を学んだ。事前学習の成果からか、本学学生が積極的に質問をすることに対して派遣校から高い評価を得た。

現地学生向けの日本語授業に複数回に亘って参加し、現地学生とチームを組んで仮想旅行を設計する課題に取り組み発表する活動を通じて、英語に慣れ親しむことに加えて異文化理解を進められた点で参加者の得るものが大きかった。授業外でも他の現地学生とテニスなどで積極的に交流を図る参加者もいた。

参加学生は与えられた課題以外にも、キャンパス内、キャンパス周辺、ホームステイ先、週末に参加したサンフランシスコ日帰りツアーなどで見つけたものに関しても好奇心を持って吸収していた。バリアフリー装置を動画撮影するために、現地のバス運転手に協力を仰いだりする学生もいた。

成果報告会では、研修を通じて学んだことを英語でディスカッションやグループ・プレゼンテーションした。今研修を通じて、今後の長期留学や海外でのキャリア形成を考えるきっかけになったと言う学生がほとんどだった。また、成果報告会で他の参加者の意欲的な姿を見て、英語学習に対するモチベーションを新たに高める参加者がほとんどだった。

学生の声①-教育学部 学生

研修に行く前よりも自分もみんなも自信がついたなという感じがした。そして英語を勉強することに対するモチベーションが上がっているように見えた。私も負けまいにもっと勉強していこうと思った。この研修では、本当にたくさんのことを学べたし、人との交わりも増えて、参加して本当に良かった。学んだこと、感じたことを、これから活かしていきたい。

学生の声②-理学部 学生

自分も他の参加者も語学力の向上だけでなく、考え方や価値観の違いも学んでいて、同じような目標を持つことができてよかった。個人的には、自分の将来の目標に対して課題が見つかったり、それに対する計画を考えられるようになった。

現地学生との交流



修了式の様子

